

## 緑と花の県民運動運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H22 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]					関連する県の計画等	[ ふくいの森林・林業基本計画 ]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
緑と花の県民運動の一層の盛り上げのために、効果的な県民運動大会の開催が必要である。						福井県森づくり条例第12条で「森づくりの日（6月の第一日曜日）」を定めており、当該日にその趣旨にふさわしい行事を実施するよう努めなければならない。					
[事業目的]											
平成21年に開催された第60回全国植樹祭を契機として実施してきた3つ区分の県民運動が、一過性のものでなく永続的に実施できるよう県民運動推進委員会を開催し、北陸新幹線敦賀開業に向け、緑と花の県民運動をより一層推進していく。											
[事業内容]											
○県民運動推進委員会の開催 ・3つの区分の県民運動（緑と花のふるさとをつくる運動、元気な森をつくる運動、自然を知り伝える運動）において、広く県民の参加が得られるための施策やイベント内容を検討し、円滑に実施するため、各種関係団体からなる県民運動推進委員会を開催する。											
[受益者] 緑と花の県民運動参加者						[想定される受益者数] 約6万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

## 緑と花の県民運動運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	-												
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	109						109						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			116	116	116	109	109						
2月現計予算額の推移			116	116	86	109							
決算額の推移			69	114	38								
前年度までの 主な増減理由		R3：緑と花の県民運動推進委員の減（16名→15名）											
[成果指標等の推移]													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県民運動参加者数	(目標)	(58,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(95,000)	(95,000)	令和6年度目標値：95,000人			
		実績	60,189	59,769	24,423	27,850							
活動指標	推進委員会開催数	(目標)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	県民運動大会の前後、次年度計画および予算の審議など必要に応じて3回程度開催			
		実績	3	3	3	3							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、県民運動参加者数が減少した。 【R3】 県民運動参加者数：27,850人（見込み） 推進委員会開催数：3回（見込み）					コロナ禍においても効果的な県民運動大会の開催ができるよう、例年同様に運営委員会を開催する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## みどりと花の県民運動大会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ ふくいの森林・林業基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緑と花の県民運動」を広くの県民に知らせ、運動の拡大を図る必要がある。</li> <li>・福井県森づくり条例第12条に定められている「森づくりの日」に、趣旨にふさわしい行事を実施する必要がある。</li> </ul>						<p style="text-align: center;">福井県森づくり条例第12条で「森づくりの日（6月の第一日曜日）」を定めており、当該日にその趣旨にふさわしい行事を実施するよう努めなければならない。</p>						
[事業目的]												
<p>“緑と花”と、さまざまな福井の魅力を融合させたイベントを実施することにより、来場する幅広い層の県民に対し、「緑と花の県民運動」の周知を行い、運動の拡大を図るため、みどりと花の県民運動大会を開催する。</p>												
[事業内容]												
<p>○6月第1日曜日の「森づくりの日」に開催          ・森林・林業基本計画の一層の推進および「緑と花の県民運動」参加者拡大を図るためのイベントを開催</p>												
[受益者] 緑と花の県民運動参加者						[想定される受益者数] 約6万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町の観光連盟がPRブースを設置するなど連携して大会を開催					他県の状況	・石川県 県主催「県民みどりの祭典」を実施 (R3は中止)					

## みどりと花の県民運動大会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営							□ 補助金					
補助率	-							□ その他					
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	4,400					4,400							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			6,944	6,605	6,630	3,751	4,400	体験イベント回数の増					
2月現計予算額の推移			6,944	6,605	2,220	3,751							
決算額の推移			6,944	6,605	2,220								
前年度までの 主な増減理由		R元：実施イベント数の減による減額 R3：新型コロナウイルス感染症に鑑み、開催規模を2日から1日に縮小して開催したことによる減額											
[成果指標等の推移]													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県民運動参加者数（人）	(目標)	(58,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(95,000)	(95,000)	令和6年度目標値：95,000人			
		実績	60,189	59,769	24,423	27,850							
活動指標	県民運動大会開催数	(目標)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	6月第1日曜日の「森づくりの日」に開催			
		実績	1	1	1	1							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、大会を1日開催とし、また参加人数を制限し規模を縮小して実施したため、県民運動大会参加者数は減少し、あわせて県民運動参加者数が減少した。 【R3】 県民運動参加者数：27,850人（見込み）					新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施できる内容で、引き続き1日開催として実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 花と緑の美しいまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ ふくいの森林・林業基本計画 FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]					
[解決すべき問題・課題] 平成21年の全国植樹祭を一過性のイベントとせず、永続的に県民運動に取り組む（第60回全国植樹祭開催方針）。 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県民が主体となって森林や木、花に関する「緑と花の県民運動」を推進する。						[問題・課題を表す客観的データ] 第60回全国植樹祭開催方針の「平成21年の全国植樹祭を一過性のイベントとせず、永続的に県民運動に取り組む」という記載に基づき県民運動を継続していく必要がある。						
[事業目的] 県下全域において花づくりに取り組む人材を育成し、あわせて花の展示イベント等を開催することにより、花と緑であふれる美しく住みよいまちづくりや、令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた花の景観づくりを推進する。												
[事業内容]  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花と緑の景観づくりに関する講座や研修の開催</li> <li>・ 学校や地域、家庭で花づくり活動に取り組む児童・生徒の育成</li> <li>・ 花いっぱい運動推進員を中心とした地域における花づくり活動への支援</li> <li>・ 地域の美化活動に合わせた花づくり活動への支援</li> </ul>												
[受益者] 緑と花の県民運動参加者						[想定される受益者数] 約6万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 花いっぱい運動推進事業 (実績)  県下全域で花いっぱい運動を展開し、地域において花いっぱい運動の機運を醸成。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	市町が地域団体と共に実施する花や花木の植栽に指導者を派遣					他県の状況		・ 富山県 花や緑に関するイベントや、花壇コンクール等実施  ・ 石川県 ふるさとづくりの一環として、花壇コンクールを実施				

## 花と緑の美しいまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,928			(入) 511	8,417	環境保全基金繰入金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				11,041	9,686	8,928	花いっぱい運動推進員に対する活動支援費用の減(△710千円)					
2月現計予算額の推移				10,755	9,686							
決算額の推移				10,152								
前年度までの 主な増減理由	R3：花いっぱい運動推進員に対する活動支援費用の減(△1,994千円)											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県民運動参加者数 (目標)			(60,000)	(60,000)	(60,000)	(95,000)	(95,000)	令和6年度目標値：95,000人			
	実績			24,423	27,850							
活動指標	花と緑の景観づくり研修 (目標)			(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	年28回開催			
	開催数 実績			19	28							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各種イベント等の縮小により県民運動参加者数が減少した。ただし、花と緑の景観づくり研修開催数は目標どおり達成できている。 【R3】 県民運動参加者数：27,850人(見込み) 花と緑の景観づくり研修開催数：28回				新型コロナウイルスへの対策を踏まえつつ、引続き研修等を実施する				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	758	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## ふくいの林業スタートアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ]	政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]	関連する県の計画等 [ ふくいの森林・林業基本計画 ]								
[解決すべき問題・課題] 林業の担い手不足を解消するため、林業に興味を持つ幅広い人材の確保が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内林業経営者数 (個人) H22 : 2,440 → H27 : 1,164 → R2 : 300					
[事業目的] 森林・林業・木材産業の人材育成拠点として総合グリーンセンターの機能を強化し、技術研修を充実させるとともに、林産物の流通・販売に係る活動支援を実施する。											
[事業内容] ○林業研修・ビジネスの強化 ・林業の普及啓発および技術習得に向けた研修会や体験会を開催 ・DIY講座等を通じて、県産材の良さをPR ・特用林産物技術研修会を通じて、新たな生産者を養成											
[受益者] 県内の林業従事者等						[想定される受益者数] 約6,000人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

## ふくいの林業スタートアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	4,822		192		(入) 4,630	0		・食料産業・6次産業化交付金 ・森林環境譲与税繰入金				
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			21,494	11,230	6,360	4,770	4,822	研修内容変更による増額（県外講師の増）				
2月現計予算額の推移			21,494	10,507	4,713	4,770						
決算額の推移			21,264	9,649	4,663							
前年度までの 主な増減理由		R元：研修実施方法を精査（類似研修を統合）し経費削減、特用林産物技術研修の回数を増加 R2：もり人づくり事業を統合（事業の効率化と一部事業規模の縮小） R3：講座回数の見直しによる報償費、消耗品費、通信運搬費、委託料の減										
[成果指標等の推移]												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	林業教室参加者数（人）	（目標）	(400)	(400)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	年200人参加		
		実績	603	652	351	356						
活動指標	研修実施回数	（目標）	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	年200回実施		
		実績	272	194	129	121						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価			
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、研修を開催できなかったため活動指標は達成できなかった（目標：200回⇒実績121回）。しかし、林業教室参加者数は目標を達成できた。					新型コロナウイルスへの対策を踏まえつつ、引き続き研修等を実施する（WEB研修の活用）				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 香福茸生産パワーアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県、香福茸生産者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ ふくいの森林・林業基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]  香福茸の生産量を拡大するためには、新規生産者確保および既存生産者の規模拡大ならびに原木の安定調達が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ]  ・新規生産者の初期費用：約3,500千円 ・年間原木必要数77,400本に対し、年間原木調達可能数48,000本						
[事業目的] 県産ジャンボ原木しいたけ香福茸の生産に必要な原木を確保するとともに、生産者の生産施設整備を支援し、安定して供給できるブランド品目としての定着を目指す。												
[事業内容]  ○香福茸生産拡大支援事業 ・新規生産者の初期設備や既存生産者の規模拡大を支援 ・生産者への研修会と技術指導等を実施  ○原木確保事業 ・コナラ・クヌギ原木賦存量を調査												
[受益者] 特用林産物生産者、青果市場関係者、森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	石川県ではジャンボ原木しいたけ「のとてまり」について「のとてまりブランド化推進事業」を実施  (内容) ・発生試験と栽培マニュアルの更新 ・協議会活動費(講習会、巡回指導、PR、販路開拓、フェアなどイベントの開催)					

## 香福茸生産パワーアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治				
事業主体	県、香福茸生産者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	直営、補助											経過年数			2 年
補助率	1/3														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,010				2,010										
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					2,010	2,010									
2月現計予算額の推移					1,517										
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	香福茸生産量(kg)	(目標)			(700)	(860)	(1,000)	(3,000)	新規生産者の参入および既存生産者のハウス増設により、毎年160kgの香福茸の生産量拡大を目指す						
		実績			300										
活動指標	栽培研修会の実施(回)	(目標)			(2)	(4)	—	—	新規生産者募集のため、植菌体験会を開催(R3~R5)						
		実績			4										
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の実施により新規生産者2名確保</li> <li>・主要な既存生産者が7月豪雨で被災し、生産施設などの修繕に時間がかかり生産量が減少</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存生産者の規模拡大よりも新規生産者の生産支援を優先的に行い、生産者数を増やすことで出荷量の安定を目指す。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 山の担い手活性化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治			
事業主体	自伐林家、自伐型林業団体、特用林産物生産者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助													
補助率	定額、1/3													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ ふくいの森林・林業基本計画 ]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
県内において、整備されていない森林の多くは、個人が所有する一人当たりの面積が小さな森林であり、森林管理の担い手がない状況である。						・ 県内林業経営者数 (個人) H22 : 2,440 → H27 : 1,164 → R2 : 300 ・ 県内自伐林家数 H26 : 57人 → H30 : 50人 → R2 : 70人								
[事業目的]														
自伐林家等が林業に取り組みやすい環境づくりや自立に向けた活動に支援し、山村で活動する山の担い手拡大と地域活性化を進める。														
[事業内容]														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たに県内へ移住し、林業関係者のもとで林業活動を始めの人へ給付金を給付 (補助率 : 定額 補助額 : 100万円)</li> <li>・ 自伐型林業等を進めるため、技術習得研修や安全対策経費に対し支援 (補助率 : 定額 補助上限 : 85万円)</li> <li>・ 県内の自伐林家等が半林半Xで新たに森林を活用した副業を行う初期投資経費に対し支援 (補助率 : 1/2 補助上限 : 60万円)</li> <li>・ 自己所有林を活用し自伐や特用林産物生産を行う取組に対し支援 (補助率 : 1/3 補助上限 : 140万円)</li> </ul>														
[受益者] 林業従事者、森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 森林資源活用支援事業 (実績)  里山を活用し木材生産や特用林産物生産を行う取組に対し支援					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

## 山の担い手活性化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	自伐林家、自伐型林業団体、特用林産物生産者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	補助					事業 区分						
補助率	定額、1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	13,900			(入) 13,900	0	森林環境譲与税繰入金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						13,900						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県内自伐林家数 (目標) 実績					(75)	(85)	(165)	県内の自伐林家数 (自伐型林業) 5人/年増			
活動指標	自伐活動等支援件数 (目標) 実績					(22)	(22)	(22)	年間22団体支援			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## ふくいの森林の魅力新発見事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県、市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化・スポーツがふくいの活力 ]				関連する県の計画等	[ ふくいの森林・林業基本計画 FIRST291～北陸新幹線開業プラン～ ]						
[解決すべき問題・課題] ふくいSatoyamaトレイルについてランニングやウォーキングなどスポーツ的な利用が多く、レジャーの一環として今後も更なる利活用が見込まれる反面、一つのトレイルコースが分散しているため周遊性に欠ける。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内に県が設定したトレイルコースが12コースあるが、各市町に1コースずつとなっており分散している。						
[事業目的] 里山トレイルを活用した地域活性化の取組をさらに強化するとともに、森林空間や里山資源を活用する森林体験への取組に支援し、県内外からの誘客を図る。												
[事業内容] ○トレイル関連の情報発信強化(県) ○新たなトレイルコースの整備 ・若狭町が実施するトレイル整備への補助 補助率：国1/2 補助上限：1計画当たり4億円(国庫ベース)												
[受益者] 森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいSatoyamaトレイル推進事業 (実績) ふくいの里山などの名所・旧跡や美しい景観を巡るウォーキングトレイルコースを周知し、中山間地域の振興を図る。					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## ふくいの森林の魅力新発見事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助									経過年数		
補助率	県1/2									3 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	125,259		125,008			251		農山漁村振興交付金				
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移					65,636	122,381	125,259	若狭町の事業費（要望額）の増額				
2月現計予算額の推移					63,201	100,251						
決算額の推移					63,201							
前年度までの 主な増減理由		R2：新たなトレイルコースの整備（若狭町） R3：若狭町の事業費（要望額）の増額										
[成果指標等の推移]												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	トレイルコース利用者数	(目標)			(23,000)	(24,000)	(25,000)	(27,000)	(43,000)	年間1,000人の増		
		実績			25,627	26,532						
活動指標	若狭アドベンチャーツーリズム拠点整備完了	(目標)			(0)	(0)	(1)	—	—	令和4年度完了予定（整備は3か年計画）		
		実績			0	0						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価			
・若狭町熊川城跡の整備完了 ・ふくいSatoyamaトレイルアプリの更新・保守					・河内川ダム周辺のキャンプ施設等を整備				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 全国育樹祭開催準備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治		
事業主体	県、実行委員会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分  <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ ふくいの森林・林業基本計画 ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
令和6年度の開催に向け準備を進めていく必要がある。						令和6年度の第47回全国育樹祭本県開催が決定した。							
[事業目的]													
令和6年度に開催予定の第47回全国育樹祭に向けて、実行委員会を設置し、開催準備を進める。													
[事業内容]													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針の策定</li> <li>・大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画の決定</li> </ul>													
[受益者] 全国育樹祭参加者						[想定される受益者数] 2万人～2.3万人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況	平成30年度：東京都 令和元年度：沖縄県 令和3年度：北海道						

## 全国育樹祭開催準備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治					
事業主体	県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						■ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	7,070				7,070											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						7,070										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	県民運動参加者数(人) (目標)	(58,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(95,000)	(95,000)	令和6年度目標値：95,000人							
	実績	60,189	59,769	24,423	27,850											
活動指標	全国育樹祭開催 (目標)					(0)	(1)	(0)	令和6年度開催							
	実績															
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 林業DX推進対策事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外「DX」	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治
事業主体	県				事務区分 ■ 自治事務 □ 法定受託事務			事業区分 ■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ ふくいの森林・林業基本計画 ]				
[解決すべき問題・課題] ・ 施業地の確保には、現地調査や施業提案書など多大な労力を必要とするため、航空レーザ計測から得られた精度の高い森林資源データを用いて省力化を図る必要がある。 ・ 森林経営管理制度や森林環境譲与税の創設により、行政の森林整備に対する役割が重要化している。						[問題・課題を表す客観的データ] ・ 県産材生産量：22.5万m3 (R2実績) → 25.0万m3 (R6目標) ・ 航空レーザ計測：74,573ha (R2実績) → 272,824ha (R6目標)					
[事業目的] 県産材生産量の拡大を図るため、精度の高い森林情報の共有・活用により施業地確保の省力化を行う。											
[事業内容]  ○ 森林クラウドシステム導入事業 ・ 森林クラウドシステムの導入 ・ 森林簿データおよび森林計画図データの適正化 ・ システムの保守点検委託  ○ 航空レーザ計測による地形・資源のデジタル化事業 ・ 航空レーザ計測の実施											
[受益者] 森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新たな森林管理システム促進事業 (実績) 現状森林GISシステムの業務分析および診断を行い、クラウドシステムへの移行が妥当かどうか判断。 → 妥当であると判断した。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況						他県の状況		・ 森林クラウドシステム導入済み 26/47都道府県 (令和3年度10月時点) ・ 石川県 (H29) ・ 新潟県、富山県、岐阜県 (R3構築中)			

## 林業DX推進対策事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外「DX」	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	228,572	191,315		(入) 3,432	33,825	・森林資源デジタル管理推進対策 ・森林環境譲与税繰入金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						228,572						
2月現計予算額の推移					73,654							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県全体の県産材生産量 (m3)	(目標) (189,000) (実績) 190,000	(195,000) 208,000	(203,000) 225,000	(215,000) 231,000	(219,000)	(250,000)	(250,000)	ふくいの森林・林業基本計画 (令和6年度に2504m3)			
活動指標	航空レーザ計測 (ha)	(目標) (実績) 38,648	(38,648) 38,648	(74,573) 74,573	(93,138) 93,093	(149,407)	(209,916)	(272,824)	県内全域の航空レーザ計測を実施			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 鳥獣害のない里づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治			
事業主体	森林組合、広域有害鳥獣対策協議会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助													
補助率	定額													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ ふくいの森林・林業基本計画 ]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
シカ生息数の増加およびそれに伴う森林の立木被害や食害による下層植生の消失。						令和元年度クマ・シカによる被害面積：56.9ha								
[事業目的]														
森林組合によるシカ捕獲活動を支援するとともに、県内モデル地区における先進的手法によるシカ捕獲を推進する。														
[事業内容]														
○森林組合によるシカ捕獲活動への支援 ・捕獲技術力向上のための研修費および捕獲活動に係る労務費等への支援  ○先進的手法によるシカ捕獲活動への支援 ・森林内での効率的・効果的な捕獲を推進するため、モバイルリングやICTを活用した囲いわなど先進的手法によるシカ捕獲活動への支援														
[受益者] 森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

## 鳥獣害のない里づくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治		
事業主体	森林組合、広域有害鳥獣対策協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	補助												
補助率	定額												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	6,900		6,900			0		鳥獣被害防止総合対策交付金					
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			16,000	11,000	7,300	6,800	6,900	シカ捕獲活動への支援に関する経費の増額（各森林組合の要望額）					
2月現計予算額の推移			14,200	10,400	7,300	6,800							
決算額の推移			14,200	10,400	7,300								
前年度までの 主な増減理由		R1 : 先進的手法によるシカ捕獲活動への支援事業の終了に関する経費の減額 R2 : シカ捕獲活動への支援に関する経費の減額（各森林組合の要望額） R3 : シカ捕獲活動への支援に関する経費の減額（各森林組合の要望額）											
[成果指標等の推移]													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	シカ捕獲頭数（頭）	(目標)	(350)	(350)	(50)	(50)	(50)	(50)	(100)	・森林組合による捕獲活動50頭			
		実績	119	150	82								
活動指標	事業実施組合数	(目標)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	・年県内10組合実施			
		実績	10	10	10	10							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
県内すべての森林組合で職員の狩猟免許取得やシカの捕獲を推進 【R3見込み】 事業実施森林組合数：10組合 狩猟免許取得者数：2人 シカ等捕獲頭数：82頭					各森林組合による効率的なシカ捕獲を継続指定して実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 美しい森林景観再生事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H19 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助										
補助率	9/10										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 4 安心を高める (地域力) ]	政策 [ 15 ふるさとの暮らしと風景の維持 ]			関連する県の計画等		[ ふくいの森林・林業基本計画 ]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
景観地が自然災害および松くい虫等の被害により荒廃していることから、森林の機能回復および森林景観の再生を図ることが必要である。						R2要望：58ha R3要望：52ha R4要望：52ha					
[事業目的]											
自然災害や松くい虫被害等により機能が低下している森林（山ぎわ）の機能回復を図るため、花木などの広葉樹等を植栽し、本県の美しい森林景観を再生する。											
[事業内容]											
○景観地等を中心に、花木などの広葉樹等の植栽および景観を阻害する不用木の除去 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広葉樹等の植栽（植栽樹種：抵抗性マツ、ツバキ、サクラ、モミジなど）</li> <li>・ 支柱や防護柵などの設置</li> <li>・ 不用木等の除去</li> </ul>											
[受益者] 森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	実施市町数 R2: 8市町 R3: 8市町 R4: 9市町					他県の状況	・ 富山県 松くい虫やカシノナガキクイムシによる被害木を景観のため伐採				

## 美しい森林景観再生事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治		
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助												
補助率	9/10												
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	15,674						15,674						
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			13,946	18,650	15,650	15,674	15,674						
2月現計予算額の推移			13,946	18,650	15,650	15,674							
決算額の推移			13,853	17,932	14,454								
前年度までの 主な増減理由		H30：事業計画の変更により減額 R元：事業計画の変更により増額 R2：事業計画の変更により減額 R3：事業計画の変更により増額											
[成果指標等の推移]													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	森林景観再生区域面積 (ha)	(目標)	(75)	(100)	(80)	(100)	(45)	(50)	(50)	平成29年度～令和4年度合計：500ha			
		実績	45	54	59	52							
活動指標	森林景観再生区域数	(目標)	(11)	(15)	(12)	(15)	(15)	(10)	(10)	市町要望の積み上げ			
		実績	17	11	16	13							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
景観地を中心に、花木等の植栽により景観を再生 【R3見込み】 森林景観再生区域数：13 森林景観再生区域面積：52ha					事業計画を変更し景勝地等の他集落や幹線道路沿いなど事業地を増加				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 森林の安全点検・診断事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 16 防災・治安先進県ふくいの実現 ]				関連する県の計画等		[ ふくいの森林・林業基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
落石のおそれが高い箇所において、人家等への直接被害を未然に防止することが必要である。						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山腹崩壊危険地区にある「勾配が急な斜面」かつ「過去に落石があった箇所」：167箇所</li> <li>・ 167箇所のうち人家がある箇所：75箇所</li> </ul>						
[事業目的]												
落石のおそれが高い箇所の安全点検・診断および事前の応急対策工を実施し、落石被害の未然防止を図る。												
[事業内容]												
<p>○落石による被害を未然防止するため、安全点検・診断および事前の応急対策工を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目視またはドローン等を使用した安全点検・診断等</li> <li>・ 浮石や転石の除石、バリケードの設置等 事前の応急対策工</li> </ul>												
[受益者] 土地所有者 落石の危険性がある山腹下部周辺の住民						[想定される受益者数] 約5,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 森林の安全点検・診断事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	5,650						5,650									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			4,350	10,000	10,000	10,000	5,650	事業計画の変更による減額（R3：16か所→R4：7か所）								
2月現計予算額の推移			4,350	10,000	10,000	10,000										
決算額の推移			4,350	10,000	10,000											
前年度までの 主な増減理由		R元：事業計画の変更により増額（H30：3か所→R元：16か所）														
[成果指標等の推移]																
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	整備率（％）	(目標)	(25)	(47)	(69)	(91)	(100)	(100)	(100)	令和4年度に整備率100%						
		実績	25	47	69	91										
活動指標	安全点検・診断、応急対策工（箇所）	(目標)	(3)	(16)	(17)	(16)	(7)			平成29年度～令和4年度に75か所実施						
		実績	3	16	17	16										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
安全点検・診断を予定どおり16箇所実施し、整備率は目標達成。				令和4年度までに安全点検・診断75か所を実施するため、引き続き実施していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	4,350					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 20年で収穫できる早生樹生産技術の確立

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ ふくいの森林・林業基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
「木を伐って植える」という森林の循環利用を進めるため、早期に生育し、高収入が得られるスギに代わる新たな樹種を選定していくことが必要である。						<ul style="list-style-type: none"> <li>・スギの伐期：80年</li> <li>・早生樹の育成適地条件や雪国に適した育成技術の知見がない。</li> </ul>						
[事業目的]												
成長量や需要面から有望であるセンダン、コウヨウザンについて、多雪地での植栽適地条件の解明と育林技術を確立する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>○生育適地条件の解明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生育調査および病虫害等発生状況等調査を実施</li> </ul> </li> <li>○雪国に適した早生樹育林体系の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要育林作業適地調査を実施</li> </ul> </li> </ul>												
[受益者] 森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 20年で収穫できる早生樹生産技術の確立

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	521	260			261	林業普及指導事業交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		6,623	4,278	1,477	521	521						
2月現計予算額の推移		6,623	4,278	1,477	521							
決算額の推移		6,623	4,278	1,477								
前年度までの 主な増減理由	R元：試験地の造成完了に伴う委託料の減額 R2：会計年度任用職員給与費の一括計上に伴う減額 R3：事務費の減											
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	育林経費の低コスト化 (%) (目標) 実績	(10) 10	(10) 10	(10) 10	(10) 10	(50) (50)	(50)	(50)	従来の初期費用（雪起し・下刈り等）を50%削減できる技術を体系化			
活動指標	早生樹の試験植栽箇所数 (目標) 実績	(20) 20	(21) 21	(21) 21	(21) 23	(21)	(21)	(21)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
低コスト化に向け植栽適地の条件解明を引き続き実施 【R3見込み】研究結果により約10%削減が期待できる試験植栽を実施 【R3見込み】県内23箇所において実施				今までの試験結果等を踏まえ早生樹植栽の手引きを作成				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 農地土壌の炭素貯留能力を向上させるバイオ炭資材等の開発

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]	関連する県の計画等		[ ふくいの森林・林業基本計画 ]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
定期的に産生される剪定枝等のバイオマスの処理が問題となっている。						・剪定枝等の一部は木質バイオマス発電所の燃料として利用されているが、燃焼灰の処理に年間2,500万円がかかっている。						
[事業目的] 「脱炭素社会」の実現に向けて、農地、森林および沿岸生態系の炭素吸収源としての能力を最大限に発揮させるため、農地土壌の炭素貯留能力を向上させるバイオ炭等を開発する。												
[事業内容]  ○農地土壌の炭素貯留、肥効、N20排出削減に資するバイオ炭混合資材等の開発  ○地域で循環しうるバイオ炭製造とその施用モデルを構築  ○バイオ炭およびバイオ炭堆肥による土壌炭素貯留効果の総合評価												
[受益者] 森林所有者						[想定される受益者数] 約7万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 農地土壌の炭素貯留能力を向上させるバイオ炭資材等の開発

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	森づくり課	課長名	竹内 英治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営							□ 補助金				
補助率	-							□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	33,990			(諸) 33,990		0 農林水産費受託事業収入						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				24,000	33,990	33,990						
2月現計予算額の推移				35,000	30,020							
決算額の推移				33,768								
前年度までの 主な増減理由	R3：職員旅費を当課が計上することによる増額											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	農地等でのバイオの施用 (目標) 実績			(0) 0	(0) 2	(1)	(4)	(4)	令和6年度までに県内4地区(福井・坂井、奥越、丹南、嶺南)で施用			
活動指標	バイオ炭づくりの実証試験数 (目標) 実績			(6) 6	(12) 9	(3)	(0)	(0)	土窯、移動式炭化炉、開放型炭化器による実証実験			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
○農地等でのバイオ炭施用2地区 ・水稲(坂井市)、サトイモ(勝山市)  ○バイオ炭づくりの実証実験 9回 ・土窯1回、移動式炭化炉6回、開放式炭化器2回 ・解放式炭化器での実証実験が資材調達の関係で5回から2回に減。できなかった分を令和4年度に実施予定。				実証実験結果を踏まえたマニュアル作成				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		